



探究ニュース Access No. 44

発行日 令和7年10月24日

あっという間に衣替えの季節を迎えました。

気づけばしばらくご無沙汰になってしまった探究ニュース。久しぶりの発行となりますが、一学期の活動を少し振り返る『振り返り号』としてお届けします。

50期の皆さんは夏休みの間に個人探究(探究A)を行い、自分の興味関心に基づく探究活動の難しさや面白さを体験しました。

49期の皆さんは、去年一年間の探究を踏まえつつ、自分の興味関心を再確認し、ゼミ活動を通して学びを深めているところですね。

久しぶりの探究ニュースですが、こうして活動を振り返る機会としても価値ある内容になっていると思います。引き続き、充実した探究ライフを送りましょう！

目次

I 50期 探究開始！プロットシートで自分探し

II 49期 探究C 本ゼミ活動スタート

III 仲野先生講演会

IV 国際交流事業報告会

III 仲野先生講演会

5月26日、大阪大学医学部名誉教授 仲野徹先生をお迎えし、「論理的に考えるということ 『探究』スタートに向けて」と題して講演をしていただきました。

探究を行うに際して大事なことや活動に向けたアドバイスが沢山詰まったお話に、講演後も積極的に質問が飛び交う充実した時間になりました。



。〇一年生の感想〇。

・自分を過信しすぎずに論理的思考を育むことが大切だということを学びました。自分の意見が間違っている可能性を頭に残しておくことで、思い通りにならなかったときも新しい発見をできるとわかりました。自分の意見や仮説を絶対だと思わず、データの根拠を確かめながら探究を進めていきたいです。

・論理的に考えるときに"できるだけ単純に考える"ということが最も印象に残っています。私は普段、様々な視点から考えてしまうことが原因で複雑に考えてしまいましたが、物事を単純な要素に分けて考えることが大切だと聞き、正しい/正しくないにとらわれず、最短距離で考えることの重要性を感じました。

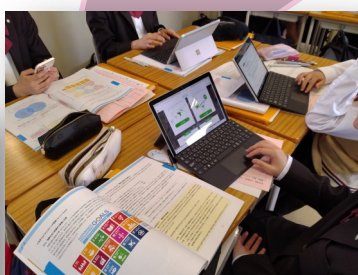
。〇二年生の感想〇。

・論理的に思考することの大切さについて学んだ。反証をいまだあまり出来ていなかったので自分と真反対の意見や質問を想定することで論理を強化できると思った。

・テーマ設定がやはり、重要であるということを改めて感じたい機会でした。テーマ設定でも、漠然としたものではなく、具体的に落とし込むことが大切なのだと学びました。発見というのは、何か、人がまだ知らないこと、未知の存在すら怪しいものを見つける事だと思っていたけど、誰ひとりとして考えたことのないようなものを考えることを発見という、と聞いて、みんなが見ているものを別の角度から見ることでも発見と呼ぶのかと、胸に響きました。

I 50期 探究開始！プロットシートで自分探し

1年生の探究Aでは、4月の探究オリエンテーションで考えた「今、興味・関心があること」を基に、テーマを絞って自己分析を行い、学問分野との関連を意識しながらそれぞれの研究テーマを決定しました。



プロットシートを使って、漠然とした問いから具体的なリサーチクエスチョン(RQ)を複数たて、そのそれぞれにあった研究手法を検討し、夏休みに実施するための方略を計画しました。



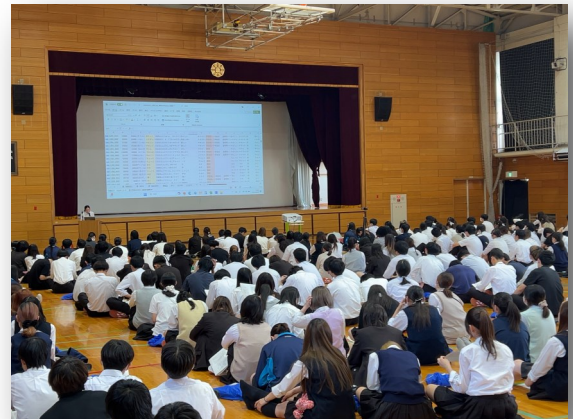
夏休みに実施
いざいざ！

Ⅱ 49期 探究C 本ゼミ活動スタート

2年生探究Cでは、ゼミでの活動を中心として探究を行います。ゼミとはゼミナールの略称で、研究環境のことを指します。最終的にはそれぞれが個人研究の成果を論文の形にまとめ、成果発表会で発表を行います。そこに至るまでの過程で、大学のゼミと同じように、研究テーマの近い生徒同士でのゼミ活動を通じて、共通のテーマについて知識を深めたり、お互いの研究状況を報告してアドバイスをし合ったりしながらより探究活動を深めて行きます。今年は、～など計16のゼミに分かれ、ゼミ長を中心に探究活動を進めていきます。

もちろんゼミごとに担当の教員はいますが、八王子東のゼミの大きな特色は、生徒が自分たちで学ぶ内容を考え、計画を作って活動を進めていく点です。5月の仮ゼミ活動を経て、2年生は自分の所属ゼミを見極めました。6月からは分野毎に分かれて、ゼミとして活動していくための基礎を学びました。

現在は、各ゼミのゼミ長を中心に、夏休みのゼミメンバーの進捗状況を確認し、論文作成の準備に取り掛かろうとしています。ゼミの仲間と協力し切磋琢磨し合いながら、より充実した探究活動を行ってくれることを期待しています。



～プロットシート(49期 探究C)～

探究Cの成果は、一人ひとりが論文の形に仕上げて完成させます。その第一歩がこのプロットシートです。プロットシートとは、探究テーマ・リサーチクエスチョン・研究手法・仮説の過程などを一枚で表現したものです。1年次の探究Aではあらかじめ枠が設けられ、その枠にあうように概念マップや自己分析・仮説の設定を行っていましたが、探究Cでは大きな一枚の紙に、自分で必要な情報を書き込んで完成させました。

探究Cは基本的に個人探究を進める時間ですが、ゼミメンバーの多様な意見を聞いたり、協力してデータを集めたりしていきます。プロットシートの作成は、自分の思考の流れを把握するだけでなく、その思考の流れを他者に説明し、理解してもらうためにも大変有効です。

11月12日の中間発表会に向けて、
計画的に準備を進めましょう！

<過去の例>

過去の例として、探究テーマ「魚の尾ビレの形にはどのような機能や役割があるのか」に関するプロットシートが示されています。

自己分析

- ◎ 興味・関心・方向性
 - ・ 魚、動物園
 - 魚(泳動)以外の身体的な特徴について
- ◎ 魚(泳動)に関連した過去の経験
 - ・ 生物の特性、観察、観察、観察、観察、観察
 - ・ 動物の観察、観察、観察、観察、観察
 - ・ 観察、観察、観察、観察、観察
- ◎ 研究テーマの決定
 - ・ 980 動物学 981 生物学

探究テーマ 魚の尾ビレの形にはどのような機能や役割があるのか

テーマ分析

魚の尾ビレの形は大きく分けて3種類あり、それぞれの特徴を比較対照する。

先行研究

魚の尾ビレの形は大きく分けて3種類あり、それぞれの特徴を比較対照する。

仮説

魚の尾ビレの形は大きく分けて3種類あり、それぞれの特徴を比較対照する。

結論

魚の尾ビレの形は大きく分けて3種類あり、それぞれの特徴を比較対照する。

参考文献

魚の尾ビレの形は大きく分けて3種類あり、それぞれの特徴を比較対照する。

Ⅳ 国際交流事業報告会

2024年8月にアメリカ、12月に台湾、そして2025年3月にカナダのトロントにて、本校生徒が海外研修を実施しました。この海外研修は、事前学習の中で生徒ひとりひとりが設定した探究テーマに基づいて、海外でのインタビュー調査やフィールドワークを行う実地研修です。

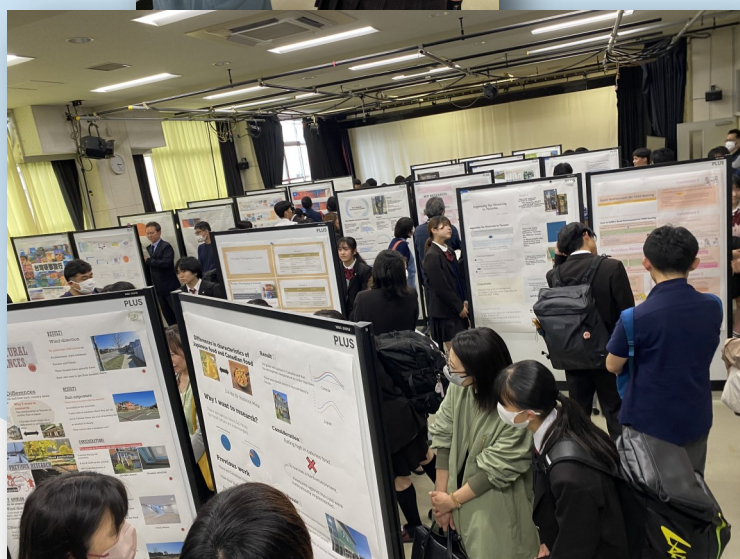
その成果について、5月10日に在校生対象、7月12日に中学生対象の報告会を実施しました。



US



Taiwan



Canada

